



平成28年6月29日
市議会議員 坂澤博光

平成28年第2回各務原市議会が6月3日（金）から6月24日（金）まで開催されましたので、その概要について報告します。

1 平成28年度一般会計補正予算

航空宇宙博物館のリニューアルに向けた施設整備事業費、新庁舎建設基本計画に伴う基本設計や地質調査などにかかる費用、にんじん選果場建設事業などにかかる費用として、約26億3千万円（当初予算額の5.8%）の増額補正になりました。

2 財産の取得

西部方面消防署の車両更新のため、2,000リットルの水槽を持つ水槽付消防ポンプ自動車を、約5,500万円で取得します。



6 スパークの一般質問

6月20日（月）に一般質問しました。その概要です。

(1) 航空宇宙科学博物館に残すべき遺産について

- ・問：航空宇宙科学博物館に残すべき遺産についてどのように考えるか
- ・答：「遺産」とすべきものは、各務原の地で航空機開発に携わった先人達の「涙と汗の物語」であり、それを語り続ける貴重な実物資料です。
- ・問：航空機の研究開発の過程の資料を遺産として残すべきではないか。
- ・答：博物館で所蔵している資料には、各務原で初飛行し約3,000機作られた「飛燕」や航空機設計に携わった土井武夫さんに関するものなど、航空機開発の歴史を語る「遺産」と呼ぶにふさわしい貴重な資料があります。

今後、実機の開発経緯等に関わる資料の収集に努めていきます。

- ・問：サイドストーリーや失敗談などを聞き取り、保管してはどうか。
- ・答：リニューアル事業では、館内の展示機体とその開発に関わった人たちの生の声を伝える映像を写したり、機体開発過程における成功と失敗の物語を展示ストーリーに組み込むなど「夢と感動」を直に感じてもらえるよう検討しています。

サイドストーリーや後日談などの情報収集やデータ保管について検討していきます。

(2) 自治会加入に向けた本市の取り組みについて

- ・問：本市の最近の自治会加入状況は。
- ・答：平成26年度77.4%、27年度77.0%、28年度76.4%と減少傾向にあります。
- ・問：自治会の役割、自治会加入のメリットは。

- ・答：自治会では、地域の清掃・美化活動、防犯・防災活動、お祭り、市民運動会など年間を通じ様々な活動をしています。この活動に参加することで地域住民とのつながりができ、お互いを知る機会となります。

特に、子どもや高齢者がいる家庭にとっては、近所に家族の顔を覚えてもらい防犯や身守りにもつながっています。

また、地震等の災害発生時には地域の力が大きな助けとなり、自主防災組織や近所の協力による避難・助け合いに繋がります。

- ・問：自治会加入に向けた本市の取り組みは。
- ・答：昨年、自治会の活動内容や連絡先を記載した「自治会加入のチラシ」をリニューアルし、今年度もこのチラシを各自治会長に配布しています。
また、自治会への加入依頼の際、心得や訪問時の想定問答などを自治会長の手引きに掲載することを考えています。

(3) 小中学校における自習室設置について

- ・問：小中学校における授業時間や部活動以外の活動の状況は。
- ・答：始業前、小学校では学習の準備や運動をしたり、中学校では部活動や自主学習したりして、児童生徒はそれぞれ活動動いています。

放課後は小学校では、下校時における安全配慮の面から帰宅し、中学校では部活動以外の日は、生徒会や学級の活動などを行っています。



- ・問：小中学校における余裕教室の状況及びその活用状況は。
- ・答：平成28年度の全小中学校のうち、余裕教室6が2校、5が2校、4が3校、3が7校、2が7校、1が2校、0が2校となっています。
活用状況としては、少人数指導教室や調べ学習室など、児童生徒の学力向上のために活用しています。
- ・問：自主自律の精神を育てるため、小中学校に自習室を設置しては。
- ・答：自主自律の精神を育てるため、児童生徒が自分たちで考え、自分たちで進んで学習する場所を学校が提供することは理想的ではありますが、教師の目の行き届かない状況をつくることになるので難しいと考えます。
各校においては、休み時間に自主的に学習できる部屋として図書室を位置付けています。児童生徒は、利用についての決まりに従って図書室を利用しています。

第14回市政報告会

とき：平成28年7月23日（土）13時30から15時

ところ：雄飛ヶ丘公民館（那加雄飛ヶ丘町12-15）

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp、ホームページ：「さかざわ博光」で検索